

JR連合北海道地協主催 3.1全道総決起集会

「2025春闘勝利、第27回参議院議員選挙勝利、
政策・組織課題の解決にむけて」

北海道地区本部第30回拡大執行委員会開催



3月1日、札幌市内において第30回拡大執行委員会を開催しました。

委員会を代表して挨拶に立った菊地委員長は「去年は安全への信頼信用を損なう事象が多発し、JR貨物グループ全体で信頼回復に向けた取り組みを強化しなければならない。2025春闘では、若者が就職したい企業とするためにも、賃金を始めとする諸労働条件の改善を図り、離職防止・優秀な人材の確保と魅力ある労働条件の創出、採用競争力の強化に向けた取り組みを強めて行かなければならない。2027年度に改正を迎えるアボコスルールの取り扱いと北海道新幹線札幌延伸に伴う並行在来線問題など、経営の根幹に関わる重要課題が山積している

るが、JR貨物だけが良いという考えは捨て、JR産業全体を考え、JR連合・本部と共に取り組んでいく。今年7月の参議院議員選挙では北海道選挙区・全国比例区の推薦候補の必勝に向けてのご理解ご協力をお願いしたい」と述べられました。執行部より今後の運動方針案を提起後、質疑応答では、2025春闘、出向先の労働条件、安全問題、共済制度等について意見が出され、吉永書記長の集約答弁を経て、当面する取り組みと具体的行動を確認し、拡大執行委員会を終了しました。



拡大執行委員会開催前に、JR連合北海道地協主催で「2025春闘勝利、第27回参議院議員選挙勝利、政策・組織課題の解決にむけて」をスローガンに3.1全道総決起集会が開催されました。

総決起集会は、菊地委員長（副議長）の開会あいさつで始まり、主催者を代表しての人見議長（JR北労組）による挨拶後、来賓挨拶では、連合北海道須間会長、交運労協加藤事務局長、もりやたかし参議院議員、勝部けんじ参議院議員片桐秘書より御挨拶を頂きました。



続いて、JR連合相良局長・住吉局長より、2025春季生活闘争方針について課題認識を共有し意思統一を図りました。決意表明では、浦島副委員長が安全の確立と貨物会社の状況、春闘の取り組み、組織課題について報告し、集会宣言を吉永書記長（書記次長）が提案し、全体の拍手で確認されました。

